



平成30年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年3月1日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL http://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第2四半期の連結業績（平成29年8月1日～平成30年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第2四半期	1,184	67.0	△221	—	△205	—	△344	—
29年7月期第2四半期	709	△48.7	△118	—	△112	—	△147	—

(注) 包括利益 30年7月期第2四半期 △360百万円 (—%) 29年7月期第2四半期 △57百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第2四半期	△42.75	—
29年7月期第2四半期	△18.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年7月期第2四半期	4,623	3,767	81.5	466.83
29年7月期	4,721	4,209	89.2	521.55

(参考) 自己資本 30年7月期第2四半期 3,767百万円 29年7月期 4,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年7月期	—	0.00	—	—	—
30年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成30年7月期の連結業績予想（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	30.6	△545	—	△525	—	△661	—	△81.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 連結業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し並びに配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年7月期2Q	9,562,000株	29年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	30年7月期2Q	1,491,000株	29年7月期	1,491,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年7月期2Q	8,071,000株	29年7月期2Q	8,071,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、LTEのサービスが世界各地で開始され、多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスも普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advancedへの研究開発投資も継続しつつ、第5世代（5G）通信方式の標準化への動きや、IoT（Internet of Things）を活用した新たなサービスの実現に向けての研究も行われております。海外におきましても、LTE-Advancedサービスが開始されており、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

また、固定通信分野におきましては、モバイル端末の普及、高速化により、ブロードバンドサービスが定着し、ビデオストリーミング等を中心としたデータトラフィックが急速に増加しております。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、設備投資や研究開発投資の需要が見込まれる一方で、通信品質の問題や、事業者間による加入者獲得競争、サービスの低価格傾向は定着しており、通信事業者及び通信機器メーカーの投資意欲に関しましては、引き続き選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTE-Advancedに対応する製品の開発及び販売
- (ii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場におけるLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iii) 5Gに対応する製品の開発
- (iv) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 1,072,141千円（前年同期比69.7%増）

当セグメントの売上高は、1,072,141千円となりました。LTE-Advancedの研究開発用途向けテストソリューションの海外向け販売が前年同期比で大幅に増加した結果によるものです。

(I Pネットワークソリューション) 112,818千円（前年同期比44.9%増）

当セグメントの売上高は、112,818千円となりました。ネットワーク監視におけるパケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売が前年同期比で増加した結果によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高1,184,960千円（前年同期比67.0%増）と前年同期比で大幅に増加となりましたが、LTE-Advanced対応製品の開発に加え、5Gに対応する製品の研究開発費が大幅に増加したことにより、営業損失221,062千円（前年同期は営業損失118,282千円）、経常損失205,369千円（前年同期は経常損失112,762千円）となりました。また、当連結会計年度の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産の取崩しを伴う法人税等調整額123,903千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は344,997千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失147,800千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,282,602千円であり、前連結会計年度末に比べ25,468千円増加いたしました。現金及び預金が305,411千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が16,293千円、商品及び製品が135,913千円、原材料及び貯蔵品が180,440千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,341,387千円であり、前連結会計年度末に比べ122,708千円減少いたしました。建設仮勘定が89,949千円増加した一方で、投資有価証券が121,215千円、繰延税金資産が113,659千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は665,192千円であり、前連結会計年度末に比べ241,163千円増加いたしました。買掛金が172,648千円、未払法人税等が20,394千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は191,019千円であり、前連結会計年度末に比べ103,266千円増加いたしました。長期借入金が103,200千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,767,777千円であり、前連結会計年度末に比べ441,669千円減少いたしました。利益剰余金が425,707千円減少したことが主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による支出309,014千円、投資活動による支出30,066千円、財務活動による収入39,918千円により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は1,883,632千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失205,369千円に対し、減価償却費107,176千円、売上債権の増加額9,333千円、たな卸資産の増加額381,525千円、仕入債務の増加額171,800千円等があった結果、営業活動によって減少した資金は309,014千円（前年同期は62,887千円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資有価証券の売却による収入103,156千円があった一方で、有形固定資産の取得による支出112,429千円等があった結果、投資活動によって減少した資金は30,066千円（前年同期は21,889千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払額80,081千円があった一方で、長期借入れによる収入120,000千円があった結果、財務活動によって増加した資金は39,918千円（前年同期は79,782千円の支出）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の連結業績及び最新の業績動向を踏まえて、平成29年8月31日公表した予想を本日修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表いたしました、「通期業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩し並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,172,116	1,866,704
受取手形及び売掛金	673,605	689,898
有価証券	16,867	16,927
商品及び製品	202,909	338,823
仕掛品	11,282	9,651
原材料及び貯蔵品	60,114	240,555
その他	120,237	120,041
流動資産合計	3,257,133	3,282,602
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,078	13,904
車両運搬具(純額)	216	108
工具、器具及び備品(純額)	432,498	435,108
土地	16,794	16,794
建設仮勘定	70,792	160,741
有形固定資産合計	535,380	626,656
無形固定資産	15,837	33,384
投資その他の資産		
投資有価証券	649,880	528,665
その他	262,997	152,681
投資その他の資産合計	912,878	681,346
固定資産合計	1,464,096	1,341,387
資産合計	4,721,230	4,623,990
負債の部		
流動負債		
買掛金	263,983	436,632
1年内返済予定の長期借入金	4,200	21,000
未払法人税等	286	20,680
賞与引当金	33,003	35,332
その他	122,556	151,547
流動負債合計	424,029	665,192
固定負債		
長期借入金	75,800	179,000
資産除去債務	11,953	12,019
固定負債合計	87,753	191,019
負債合計	511,782	856,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,503,745
利益剰余金	1,901,188	1,475,480
自己株式	△505,530	△505,530
株主資本合計	4,258,753	3,833,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,800	△75,836
為替換算調整勘定	4,495	10,568
その他の包括利益累計額合計	△49,305	△65,267
純資産合計	4,209,447	3,767,777
負債純資産合計	4,721,230	4,623,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
売上高	709,731	1,184,960
売上原価	159,815	404,985
売上総利益	549,916	779,974
販売費及び一般管理費	668,199	1,001,036
営業損失(△)	△118,282	△221,062
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,779	2,533
為替差益	2,467	7,063
投資有価証券売却益	—	5,086
その他	302	1,315
営業外収益合計	5,550	15,999
営業外費用		
支払利息	26	281
その他	3	25
営業外費用合計	29	306
経常損失(△)	△112,762	△205,369
特別損失		
投資有価証券評価損	79,286	—
特別損失合計	79,286	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△192,048	△205,369
法人税、住民税及び事業税	1,744	15,724
法人税等調整額	△45,992	123,903
法人税等合計	△44,248	139,628
四半期純損失(△)	△147,800	△344,997
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△147,800	△344,997

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
四半期純損失(△)	△147,800	△344,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87,206	△22,035
為替換算調整勘定	2,920	6,073
その他の包括利益合計	90,127	△15,962
四半期包括利益	△57,673	△360,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,673	△360,959
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△192,048	△205,369
減価償却費	78,474	107,176
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,566	2,329
受取利息及び受取配当金	△2,779	△2,533
支払利息	26	281
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5,086
投資有価証券評価損益(△は益)	79,286	—
売上債権の増減額(△は増加)	109,712	△9,333
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,302	△381,525
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,260	171,800
未収消費税等の増減額(△は増加)	15,856	△24,262
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,612	—
その他	14,337	△10,144
小計	45,084	△356,668
利息及び配当金の受取額	702	1,510
利息の支払額	△26	△281
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	17,127	46,425
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,887	△309,014
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,447	△112,429
無形固定資産の取得による支出	△6,600	△19,354
投資有価証券の売却による収入	—	103,156
その他	△841	△1,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,889	△30,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	120,000
リース債務の返済による支出	△81	—
配当金の支払額	△79,700	△80,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,782	39,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,688	△6,188
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,096	△305,351
現金及び現金同等物の期首残高	2,570,283	2,188,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,538,187	1,883,632

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	631,860	77,870	709,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	631,860	77,870	709,731
セグメント利益又は損失（△）	72,290	△190,573	△118,282

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年8月1日 至 平成30年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額（注）
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	1,072,141	112,818	1,184,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,072,141	112,818	1,184,960
セグメント利益又は損失（△）	△40,767	△180,294	△221,062

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。